

スポーツメカニクス科

2026年度 授業計画

時期	3年A巡	単元	実習	教科名	工作, 金属加工	
科目	実習	教科書等 持参品	作業用グローブ		発行日	2026年4月1日
総時限	39時限				教科 担当	青田
総時間	62.4時間					神林
単位数	2					若林 (外部講師)

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

- ・工作、金属加工の経験のある教員が、材料のカット、溶接、加工技術を指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ・金属の切削技術を習得する。
- ・溶接技術を習得する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ・L字アングル、丸パイプ、角棒などの鋼材を用いて、寸法通りのカットができるようになる。
- ・上記で切り出した材料を決められたデザインに溶接することができる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・各役割での取り組み姿勢及び行動をルーブリック表にて評価する。

5. 準備学習

- ・鋼材の切削道具、溶接機材の概要を学習しておく。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。

1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

スポーツメカニクス科

2026年度 授業計画

時期	3年A巡	単元	実習	教科名	工作, 金属加工	
7. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	各機材の名称、用途の説明				電動ドリル	5
2	金属用ハンドソーの使い方				ディスクグラインダー	5
3	金属用ハンドソーの使い方				金属用ハンドソー	1
4	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟				プラズマ切断機	1
5	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟				ガス溶接機	1
6	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟				半自動溶接機	1
7	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟				MIG溶接機	1
8	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟				TIG溶接機	1
9	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟				角材	適宜
10	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟				丸パイプ	適宜
11	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟				L字アングル	適宜
12	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟					
13	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟					
14	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟					
15	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟					
16	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟					
17	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟					
18	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟					
19	アングル棒、丸パイプ、角材のカット習熟					
20	半自動溶接機の使い方					
21	半自動溶接機の使い方					
22	TIG、MIG溶接機の使い方					
23	TIG、MIG溶接機の使い方					
24	溶接作業の習熟					
25	溶接作業の習熟					
26	溶接作業の習熟					
27	溶接作業の習熟					
28	溶接作業の習熟					
29	溶接作業の習熟					
30	溶接作業の習熟					
31	溶接作業の習熟					
32	溶接作業の習熟					
33	溶接作業の習熟					
34	溶接作業の習熟					
35	溶接作業の習熟					
36	溶接作業の習熟					
37	溶接作業の習熟					
38	溶接作業の習熟					
39	溶接作業の習熟					